

# テスト

- ▶ 内的・外的トルクが均衡している時は関節運動は( )
- ▶ 人体で最も多くみられるてこは( )のてこ
- ▶ 筋力には筋の生理的( )と筋線維の走行角度が影響する
- ▶ 同質量ならば紡錘状筋よりも( )筋の方が大きな力をもつ
- ▶ 筋を収縮させるフィラメントには( )とミオシンがある
- ▶ 筋収縮にはフィラメント結合し( )を作る必要がある
- ▶ 筋が伸張されるほど張力を増すことを表したグラフを( )長さー張力曲線という
- ▶ 運動ニューロン・軸索・筋線維 を合せて( )という
- ▶ 筋力の滑らかな強弱の制御には運動単位の( )と発火頻度の調節が必要となる

## 語群

屈曲する	起こる	起こらない	第1	第2	第3	断面積	体積
伸張性	デスミン	アクチン	タイチン	アルミン	角状	棒状	
羽状	連結橋	結合橋	機能的	受動的	運動単位	収縮単位	
採用	動員	増加					

# こたえ

- ▶ 内的・外的トルクが均衡している時は関節運動は(起こらない)
- ▶ 人体で最も多くみられるてこは(第3)のてこ
- ▶ 筋力には筋の生理的(断面積)と筋線維の走行角度が影響する
- ▶ 同質量ならば紡錘状筋よりも(羽状)筋の方が大きな力をもつ
- ▶ 筋を収縮させるフィラメントには(アクチン)とミオシンがある
- ▶ 筋収縮にはフィラメント結合し(連結橋)を作る必要がある
- ▶ 筋が伸張されるほど張力を増すことを表したグラフを(受動的)長さー張力曲線という
- ▶ 運動ニューロン・軸索・筋線維 を合せて(運動単位)という
- ▶ 筋力の滑らかな強弱の制御には運動単位の(動員)と発火頻度の調節が必要となる